

富山新港火力発電所石炭 2 号機の発電再開について

平成24年7月19日
北陸電力株式会社

昨日（7月18日）、9時32分富山新港火力発電所石炭 2 号機（定格出力：25万kW）は、20万kW運転中に、ボイラー内部の燃焼ガス圧力の異常を検知し、自動停止しました。
（7月18日お知らせ済み）

当社は、自動停止後の点検にて設備の損傷がないことを確認し、本日（7月19日）6時11分に発電を再開しました。

自動停止の原因は、ボイラー内部に付着していた大きなクリンカ の塊がボイラー下部に設置されている灰処理装置内の水中に落下し、圧力が変動したとと判明しました。

当社は、今後も発電所の安全運転に万全を期してまいります。

なお、富山新港火力発電所石炭 2 号機の発電再開により、本日の供給力は589万kW、供給予備率は13.2%となります。

クリンカ；石炭が燃焼した際に溶けた灰が固まったもの

別紙 ボイラー 概要

以 上

【ボイラー 概要】

